

市議会一般質問

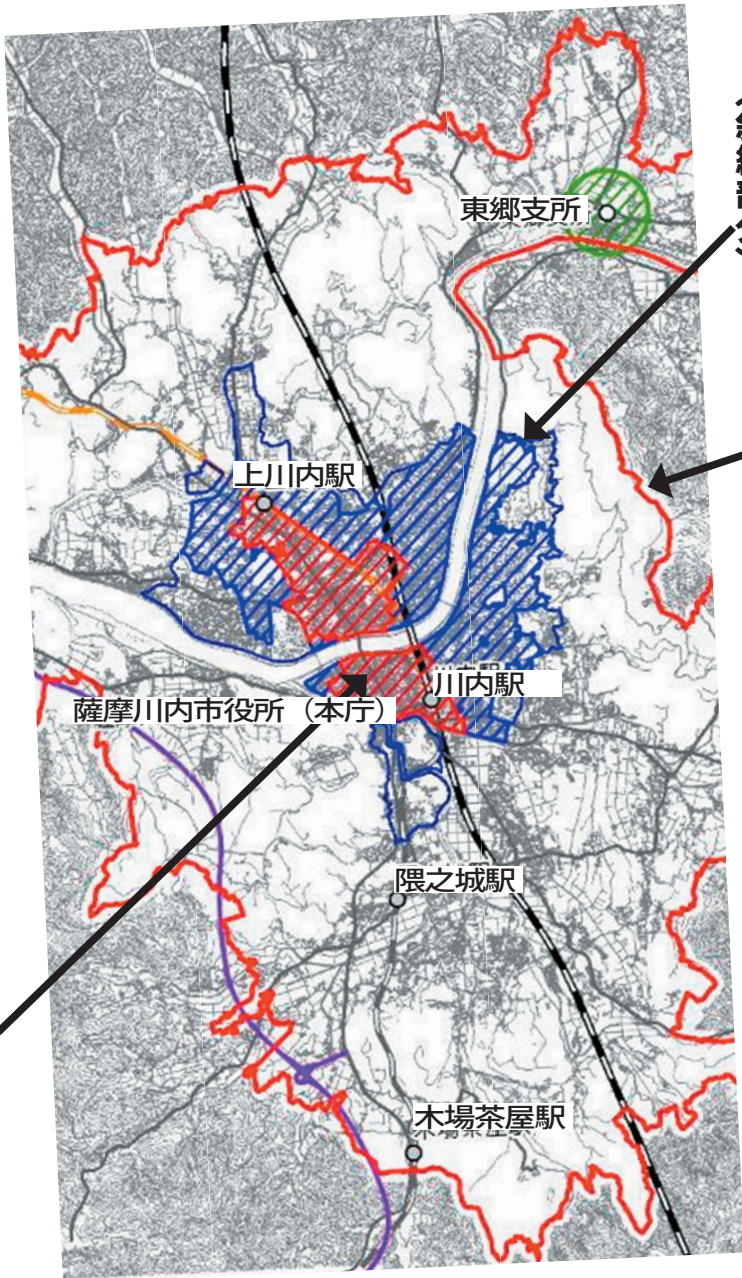
井上かつひろ市議 薩摩川内市立地適正化計画を批判

天辰・入来町副田などに居住誘導

薩摩川内市は、立地適正化計画の中で地域を「居住誘導区域」と「居住誘導区域外」に分け、人口を居住誘導区域に移動させる計画を立てています。日本共産党の井上かつひろ市議は、3月6日の一般質問で、薩摩川内市のどこに住んでも良いまちが実感できる町づくりをすべきたと迫りました。

「どこに住んでもいいまちと思えるまちづくりを」(井上)

1月18日に行われた支所長と議員の意見交換会では、地域の最大の課題が人口の流出であり、地域の高齢化で
あることが浮き彫りになりました。地域から若者がいなくなるとコミュニティが成り立たなくなり、地域の活性化が難しくなるといわれています。薩摩川内市の立地適正化計画は、
たまたま地域に若者が残るのか支所長は頭を痛めていました。旧4町4村の一部(入来町区画整理事業区域)を除いて、薩摩川内市のほぼ全域から「居住誘導区域」に人口を誘



居住誘導区域 (斜線部分)
都市計画区域

都市機能誘導区域

薩摩川内市立地適正化計画より

斜線の区域が居住誘導区域。入来町副田地区の一部の図は紙面の都合で掲載していません。

井上 どのような方法で人口を移動させるのか
建設部長 人口減少社会を見据えた持続可能なまちづくりを目指すため、居住誘導区域のような拠点を設定し、立地適正化計画の周知啓発のほか、居住誘導区域外における一定規模以上の開発行為に対する届け出制度により、住宅整備の開発動向の把握、それから住宅ストックの確保
(二面に続く)

(2) 現況値等の状況

(現況値は2015年国勢調査より算出)

区域	2019年		2040年(推計)		目標値	目標値達成に必要な誘導人口
	人口(人)	人口密度(人/ha)	人口(人)	人口密度(人/ha)	人口密度(人/ha)	
居住誘導区域	26,376	30.7	24,354	28.4	30.7(維持)	2,022人
居住誘導区域(川内)	26,183	31.0	24,250	28.7	—	—
居住誘導区域(副田)	193	13.8	104	7.4	—	—
居住誘導区域外	69,700	1.0	50,125	0.7	—	—

居住誘導区域の人口が2019年から2040年にかけて減少が見込まれています。計画では、居住誘導区域の人口密度を維持するため2022人を人口誘導する目標になっています。(上表)
全市的な人口が減少する中で、人口の誘導があれば過疎地はますます過疎化を進めることとなります。居住誘導区域外では、人口が減らないよう市として対策を行わないことと同じです。

薩摩川内市立地適正化計画より

こちらくらしの相談所 (No. 566)
携帯 080-3996-0237 (井上)

グリーチングが入った
以前にこちらから取り上げていたふたのない側溝。中学生が自転車で登下校するところがあり、夏になると

と草むらのようになる場所なので、自転車の車輪でもはまってしまったら大げがするかもと近所の人も心配していました。県管理の歩道です。初めて鹿児島県に要望を出してから8か月はかかりました。写真のようにグリーチングが入りました。



工事後 工事前
セブンイレブン樋脇店前



エプロンおばさんの 簡単クッキング (632)

カリポリふりかけ

材料

ちりめんじゃこ 1/4カップ、削り節 1パック (2g)、白煎りごま大2、青のり小2

作り方

- ①フライパンにちりめんじゃこを入れ、弱めの中火で約5分せつせと炒る。
- ②じゃこが少しパリッになったら、削り節、白炒りごま、青のりの順に加え、ざっと混ぜて火を止める。すぐに大皿などに移し、冷めたら指で少しじゃこをつぶす。

※材料は二人分

「どこに住んでもいいまちと 思えるまちづくりを」

保などを行って

それぞれの考えの
もとに住んでいた
だいて構わない。

井上 人口減少の地域
の課題との整合性
は

井上 どこに住んでい
てもいいまちだと
思えるようなまち
づくりこそ大切な
のではないか。

建設部長 立地適正化
計画は、長期的な視
点で、緩やかな誘導
により問題、課題解
決を図ろうとする
もの。居住誘導区域
外に住まれる方は、

市長 立地適正化計
画は都市計画マス

タープランの一部
であり、地域限定の
もの。川内駅を中心
にしたまちづくり
をすすめる。薩摩川
内市全体的には、社
会増減をプラスマ
イナスゼロに持つ
ていくために、市
内の企業で働く若
者をふやす政策(奨
学金の返済を市が
負担する)などの予
算を計上し、48コ
ミニユティの均衡
ある発展のため自

治会・コミュニティ
に関する交付金等
の改正をおこなう。

井上 均衡あるバラ
ンスのとれたまちづ
くりを進めること
が必要だ。「居住誘
導区域」という名前
が悪い。(立地適正
化計画は中止して)
名前を変えるべき
だ。

ショパンを聞いて「平和と人権」考えよう
「花束の中に隠された大砲」
3月30日(土) 15~16時半 東郷公民館ホール
ピアノ&トーク チェ・ソンエさん
大人2000円 18歳未満1000円(当日500円増)
※お問い合わせは梯 080-5200-6858・福元 090-8394-4480



- プログラム
- ▼ルゲリク・ショパン (1810 ~ 1849)
 - ・「幻想即興曲」
 - ・「ロマンス」~ピアノ協奏曲第1番第2楽章より
 - ・「革命のエチュード」
 - ・「ノクターン 遺作」
 - ・「別れのワルツ」
 - ・「子犬のワルツ」
 - ・「別れの曲」
 - ▼「アイリッシュ・ジグ」(作曲家不詳)
 - ▼「エルズニアのこもりうた」
 - ▼「アイ・ガット・リズム」ガ-シュイン (1898~1937)

しんぶん赤旗 紹介コーナー

3月17日付 日曜版1面

消費税はどんどん上げて、大企業の法人税はどんどん下げている



出典：財務省ホームページから田村智子事務所作成



←中俣先生のブログはこちら

中俣先生の つれづれなるままに (753)



党の大会決定集に、「人間の自由」こそ社会主義・共産主義の特質」という項があつて、そこには、三つの自由の特質が挙げられている。一つ目が、「利潤第一主義」からの自由。二つ目が、「人間の自由で全面的な発達」。そして三つ目が、「発達した資本主義国の巨大な可能性」である。ところが一番私が感動したところであるが、ここを讀みながらふと、児童クラブの「自由」は何だろうと思つた。党の綱領に当てはめてみると、その第一が、「学力主義からの自由」。子どもたちは日々、学校や家庭での、「できる」「できない」の学力主義に搾取されている。ここからの自由を保障しなければならぬ。第二は、異年齢集団による、「人間の自由で全面的な発達」であろう。子どもは子ども集団のなかでこそ全面的な発達が保障される。第三は、「学校や地域、家庭で身に着けた高度な生きる学力」である。これが自由に発揮されてこそ、児童クラブの自由は、高度な発展を見る。こうしてみると、児童クラブこそ、党の綱領に書かれた自由が生かされなければならぬところであると思えてくる。私はときどき、こうした放課後児童クラブを持つ自由を侵してはいないかと考える。それをしたらだめ、そんなことあてしなさいなどと、子どもたちの真の自由を侵害してはいないか。一定の集団の規律と自由。日々、そうした葛藤のなかで私は過ごしている気がする。老いの身に、まだまだ足りざることは多い。(高来児童クラブ 支援員)